

# 森下さちこニュース

2009年5月号

和歌山市鳴神  
1145-6  
Tel. 474-6556



## 「ゴミ減量リサイクルへの提案」

## 「ごみ減量に関わるパンフレット完成」

### 活用していただくわー！

## 視察と学習を重ね

昨年、市長が家庭系ごみの有料化について「廃棄物対策審議会」に諮問しました。私たち市議員団は「有料化はごみ減量に効果があるのか」という疑問を持ち、和歌山県下の進んだ自治体をはじめ、長野市や名古屋市に視察に行つて貴重な経験を学んできました。9月議会では、学んできたことをそれぞれのテーマで質問をしました。

## 冊子完成！

議会終了後、市の職員が「よくまとまった質問だったから、ぜひパンフレットにしたら」とアドバイスしてくれたこともあり、冊子を作りました。

「和歌山市は、ごみ減量リサイクルで、なぜ全国ワーストクラスなの？」「減量めざす市独自の施策が乏しいのはなぜ？」などなど和歌山市のゴミ問題の現状と市議団の提案をまとめています。

※和歌山市のリサイクル率は9.5%で全国ワースト3。排出量はワースト5です。

## ごみ減量、先進都市・和歌山市をめざして…

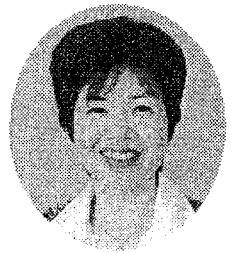
今年度の有料化は先送りされましたが、ごみの減量、循環型社会をめざすという点ではこれからが大切です。減量のためには分別の細分化や集団回収、ごみの出し方の徹底など市民一人ひと

## なんでも生活相談

- ◆ 毎週木曜日  
森下事務所(花山)  
(475)8122
- ◆ 随時相談できます。  
市役所控室  
(435)1113

## ◇さちこからのメッセージ◇

季節は初夏を迎えています。いかがお過ごしですか。



大阪府、兵庫県、そして東京都でも新型インフルエンザ感染のニュースが毎日のように報道されています。

幸い、現在のところ重症化している例はほとんどなく、いずれも季節性の症状であるということです。しかし、学校の休校や修学旅行が中止になるなど間接的な影響が出ていることもあり、今後の行方が懸念されます。感染を広げないこと、症状を重症化させないこと、正確な情報が適時に提供されることが現在の課題と言えるでしょうか。免疫力の低下が感染を助長するということがあります。くれぐれもご自愛下さい。

## 6月議会が始まります

補正議会である6月定例会が近づいています。

先の2月議会では雇用や経済対策について重点的に質問しました。今回は市の行政改革の一環でもある「支所・連絡所」の集約化に伴う窓口業務の廃止について、特に新たな窓口として予定されているコミュニティセンターから遠い地域に対する対策の必要性を質問しようと考えています。(関連記事は裏面に) お時間の許す方はぜひ傍聴にお越し下さい。



# 「サービスセンター」実施でどうなる？

来年10月から、支所・連絡所の窓口業務が廃止され、5つのコミュニティセンターに移行するという案が2月議会で可決されました。

来年以降、南（雑賀、和歌浦、名草、田野、雑賀崎）と直川（有功、紀伊、川永、山口）にもコミュニティセンターの建設が予定されていますが、まだまだ市の説明が行き届いておらず、ほとんど知らされていません。

## 遠くて不便・・・不安の声が・・・

東山東地域は08年度で2669件の住民票、戸籍などの証明書をそ

## 住民サービス最優先に！

支所・連絡所であれば、歩いていけると窓口にあり、高齢者や自家用車を持たない人のための便利なサービスになっていたはずですが、一律に集約化することで住民が受け

# こんにちは！ 藤井健太郎です

(ふじいけんたろう)

5月21日、県議団は知事に対して「新型インフルエンザ対策に関する緊急要望」を行いました。



お隣の大阪、神戸や滋賀で患者が発生し、府県内の学校、保育所が一週間の休みとなり、地域社会に大きな影響を与えました。知事への要望を行ったときは、幸いにも

和歌山県内での患者は確認されてはいませんでしたが、保健所に設置した発熱相談センターや市内2ヶ所の発熱外来は手一杯で、保健所が通常の業務を中止して、発熱外来を開設する状況でした。また、マスクや手洗い薬を求めてもすでに売り切れの状態でもありました。

感染を予防し、拡大を最小限にとどめることが求められています。緊急要望では、相談センターや発熱外来の拡充、医療機関での受診体制確保に向けた支援、感染症病床の確保、保険証のない人の受診と医療費負担の軽減、マスクなどの普及を求めました。

る影響を調べ、明らかなサービス低下が予想されれば、何らかの手を打つ必要があると思うのですが、皆さんはいかがお考えでしょうか。



## 母子加算が廃止！ 直ちに復活を！

今年度から、生活保護の母子加算が廃止されました。厚生労働省は公平の原則ということですが、公平というなら同じ仕事なのに、女性というだけで男性との給料格差があるという実態をまずは正すべきではないでしょうか。母子家庭の人は好んでそうなたわけではなく、多くが苦勞に苦勞を重ねて子育てしています。子供たちが学校で必要な費用を始め、中学・高校では驚くほどかかる教育費。せめて経済的な負担を政治が後押しするのでなければ、少子化にも歯止めはかかりません。

少し前に廃止された老齢加算同様、すぐに元に戻すことが求められます。一緒に声を上げていきましょう。

# おっちゃん なあれ

森下さんちの  
元おっちゃん  
成長日記

以前、飼っていた大型犬を老衰で亡くし、新しい犬を迎えて3年目。この春に2匹の小犬を産みました。元哉も妹の風優も犬の出産からの経過を目の当たりにするのは初めてです。また、シェパードを亡くした時、最後の瞬間を見取ったのは元哉で、それも初めての経験でした。いずれも犬ではありませんが、家族の一員として共に過ごすのは命そのものと向き合うことでもあります。生まれた時は、まるで不ズミのようだった小犬たちも、2か月経った今や、やんちゃ盛り。毎日かドタバタの日々です。2匹とも飼うことが無理なので、先日、雄の小犬を友人に譲りました。元哉は、この雄犬ととても仲良しで、名前を呼ぶとすぐに走ってくるからと特別可愛がっていました。引き取られて行った日から、しばらくは「あいつは賢い子や。た。どうしているかな」と名残り措しそうでした。